

広島大学 文学部 人文学科
ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

平成26年8月30日（土）
自 13時00分
至 14時30分

答案作成上の注意

1. この総合問題紙は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
2. この総合問題紙の枚数等は下記のとおりです。
解答開始の指示後、直ちに下記の枚数を確認してください。

問題枚数 (この表紙を含む)	3枚	解答用紙	2枚
		下書用紙	1枚

3. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
5. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
6. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. 配付した総合問題紙及び下書用紙は、持ち帰ってください。
8. 総合問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

I 次の英文を読んで後の問いに答えよ。

...After all, language is our creation. It reflects our values, ideals, and goals, and the way we see and relate to the world. There are languages that do not insist on the constant repetition of the vertical pronoun for clarity or grammatical completeness. In Japanese, for example, it is possible to make sentences without the “I” or other personal pronouns in all but a few cases. The Japanese ideal of personal behavior, which the language reflects, is modesty and self-effacement, in theory at least if not always in practice. The strong assertion of the Ego-I in contemporary American speech, as well as the decline of the passive voice in favor of the active, shows that we no longer value humility and self-effacement, if we ever did.

Our relative mind of Ego, aided by language, deceives us in other ways. It constantly tempts us into distinctions and judgments that take us farther and farther from the concrete and the real into the realm of the speculative and the abstract....With each such judgment the experience of pure healing becomes fainter and fainter until one no longer hears the sound but hears only his thoughts about it.

(Thich Nhat Hanh, *Zen Keys*, New York 2005, pp.9-10)

(注)

the vertical pronoun : ここでは pronoun の“I”をさす

self-effacement : the act or fact of keeping oneself in the background, as in humility.

the Ego-I : ここでは egoistical あるいは selfish な I をさす

the passive voice と the active : これらは grammatical term です

deceive : to make someone believe something that is not true.= trick, deception

speculative : based on guessing, not on information or facts

faint : lacking strength or feeling weak

問1 After all から if we ever did.までの一段落全文を邦訳せよ。

問2 下線部のことがなぜ起こるのかについて述べよ。

問3 Ego-I に注目し、講義でとりあげた「善さ」や「自己意識」や「言葉」が、それとどのように関わるのかについて述べよ。

ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

II 次の英文を読んで後の問いに答えよ。

- A 超人がわたしの思いを占める…。わたしの第一の、そして唯一の関心はこれであって、…隣人でも、貧者でも、苦しむ者でも、善い者でもない。…こんにち主になったのは小さい者たち…このやからがいまや人類の運命の主になろうとしている。…このやからがくりかえし問いを發して、…「人間はどのようにして保存されるか、最もよく、最も長く、最も快適な状態に？」こういうことによって—かれらは今日の主になったのだ。今日のこの主たちを征服せよ…かれらは超人の最大の危険である。征服せよ、高人たちよ、小さい徳を、小さい賢しらを、…あわれむべき安穩を、「最大多数の幸福」を。—屈従するよりは、絶望せよ。
- B 自己意識は三つの発展段階を経過すべきである。…第一の段階はわれわれに向かって、…個別的な自己意識を表現している。…対象は、ただ外見的に独立的なものであるだけであって…これが欲求する自己意識である。…第二の段階では…自我は或る他の自我の規定を獲得し、…二つの自己意識の間には承認の過程が発生する。ここでは…個別的な自己意識であるだけではなくて、自己意識のなかではすでに個別性と一般性との或る結合が始まっている。…次にさらに、相互に対立するもろもろの自己の他在が廃棄され、…自己はそれぞれ独立でありつつしかも相互に同一化する。…これが一般的な自己意識である。
- C 仏道をならふといふは、自己をならふ也。自己をならふといふは、自己をわするなり。自己をわするるといふは、方法に証せらるるなり。方法に証せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。
- D 善とは自己の実在の真性より説明ができることとなる。…存在と価値とを分けて考えるのは、知識の対象と情意の対象とを分つ抽象的作用よりくるので、具体的真実在においてはこの両者は元来一であるのである。乃ち善を求め善に遷るといふのは、つまり自己の真を知ることとなる。…しかし抽象的知識と善とは必ずしも一致しない。この場合における知るとはいわゆる体得の意味でなければならぬ。

(本文中に付された傍点は削除し、平仮名繰り返し記号「一つ点 (ゝ)」は通常の文字に置き換えている。)

問1 A (実存主義、生の哲学)、B (ドイツ観念論)、C (鎌倉時代の禅僧)、D (近代日本の哲学者) の文章を書いた著者名をあげ、教科書で説明される各人の思想の要点を述べよ。

問2 講義の内容と上記の著者たちがとる物の見方からみえてくる「より善くなる」図式の構造特徴を述べよ。